

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 26日

川崎市長 殿



提出者

住 所 川崎市高津区梶ヶ谷3-13-31

氏 名 (株)末長組 代表取締役 工藤 尚樹

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 044-888-2068

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	川崎市管轄内工事現場	自主管理番号 (3101)
事業場の所在地	川崎市管轄内工事現場	TEL(連絡先): 044-888-2068

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	D-建設業 (具体的には)		建設工事・マンション分譲及び賃貸事業
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	百万円/年
	建設業	エリア内元請完成工事高	1,752 百万円/年
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円/年
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数			

産業廃棄物処理計画における計画期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,011.6 t	全処理委託量	2,011.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,011.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理	0 t

※ 事務処理欄

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙一括表

事業場名称 川崎市管轄内工事現場

	3-1 処理													自主							
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス		セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・容器・陶磁器くず	ぬきざい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	混合廃棄物その他	(単位:ト)
① 排出量	127.3					260.1	4.8	188.1	4.8				0	81.1		34.7				1,310.7	2,011.6
②+⑧ 自ら再生利用を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 自ら熱回収を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 全処理委託量	127.3					260.1	4.8	188.1	4.8				0	81.1		34.7				1,310.7	2,011.6
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	127.3					260.1	4.8	188.1	4.8				0	81.1		34.7				1,310.7	2,011.6
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
① 当該事業場における排出量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用した量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量																					
④ 自ら中間処理した量																					
⑤ ④のうち熱回収を行った量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理した後の残存量																					
⑦ 自ら中間処理により減量した量																					
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量																					
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量																					
※3 自らの他事業場での処理量																					
a 自ら中間処理した後の処理委託量																					
b-1 中間処理委託量																					
再生利用前委託量																					
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量																					
B-1 中間処理委託量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
再生利用前委託量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
最終処分前委託量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
下水等放流前委託量																					
B-2 最終処分委託量																					
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量																					
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	2.2					65.4	76.3	165.1	11.7				0.6	84.8		39.3				2,192.3	2,637.7
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																					
⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					

令和4年度実績

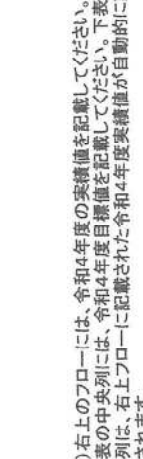
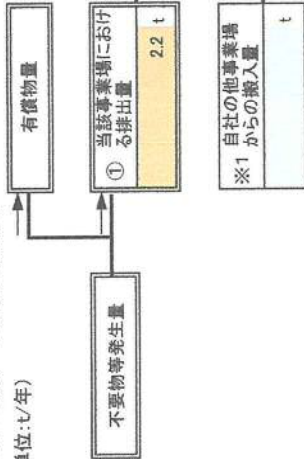
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

① 汚泥
 フローに記載した産業廃棄物の種類
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

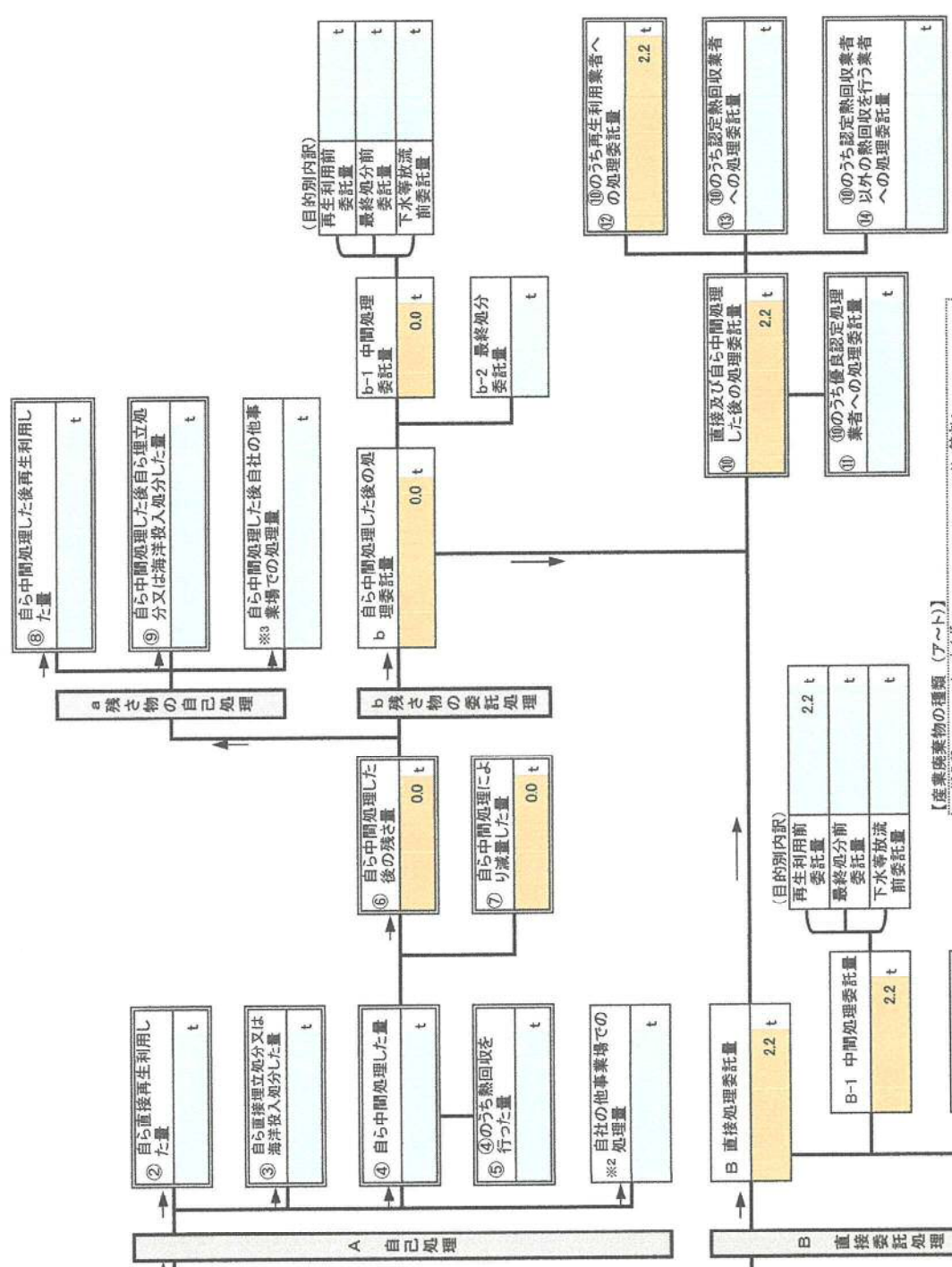
(単位: t/年)



項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	127.3 t	2.2 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	127.3 t	2.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	127.3 t	2.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

事業場名称：川崎市管轄内工事現場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 金属くず
 - キ. 窯くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残さ
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉱さい
 - タ. がけき質
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

3-2	法定	自主
-----	----	----

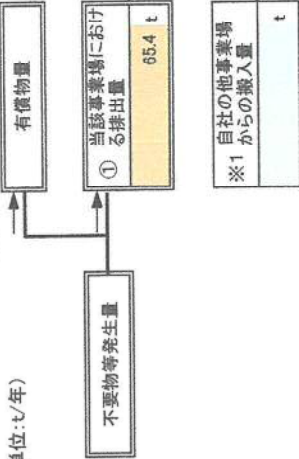
事業場名称：川崎市管内工事現場

別紙処理フロー
令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

【産業廃棄物の種類】
カ、廃プラスチック類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

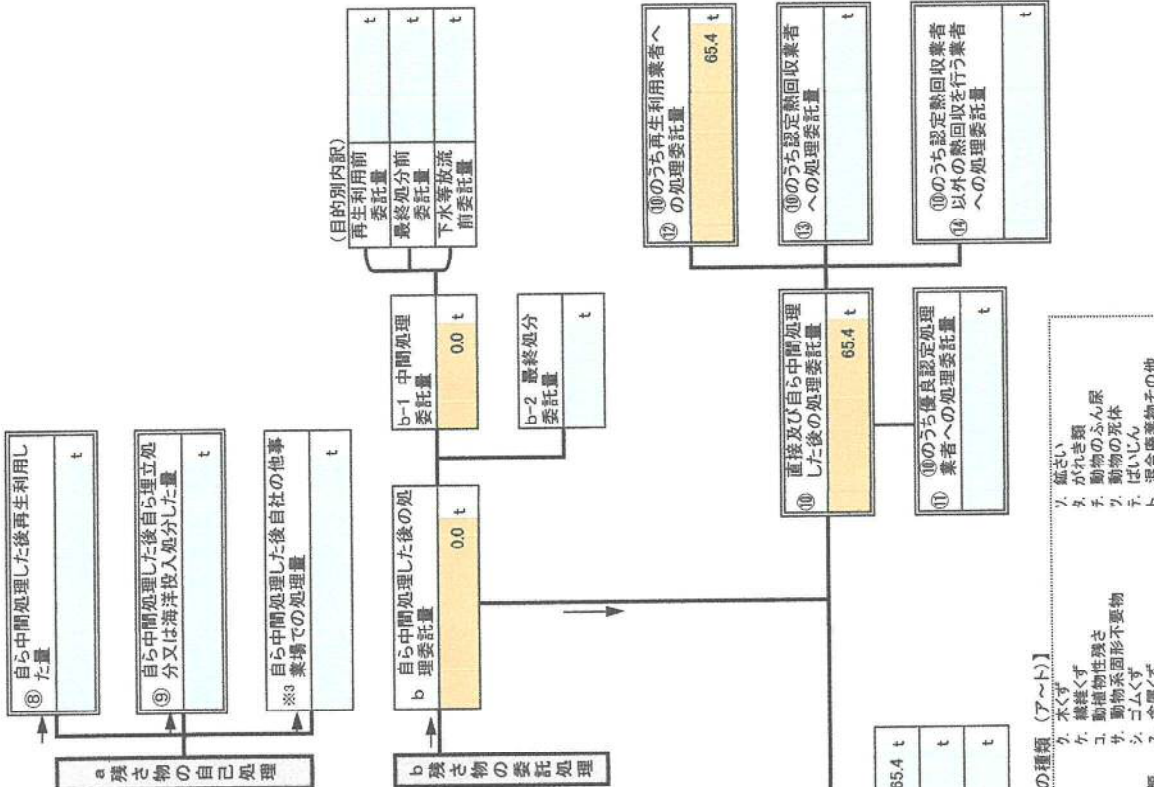
(単位：t/年)



項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	260.1 t	65.4 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑤ 自ら焼立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	260.1 t	65.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	260.1 t	65.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t



(第2頁)

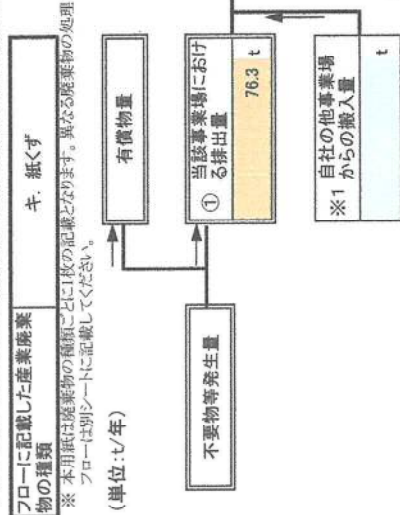


- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 燃やしたくず
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃酸
 - オ 廃アルカリ
 - カ 廃プラスチック類
 - キ 紙くず
 - ク 繊維くず
 - ク 雑草
 - コ 動植物残渣
 - ク 動物の死体
 - シ 動物の糞尿
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ ぬい
 - タ がいき類
 - チ 動物のふん尿
 - ツ ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果



注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	4.8 t	76.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら処理処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	4.8 t	76.3 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	4.8 t	76.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- ク. 紙くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動物性残渣
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・セラミックス類
- ソ. 灰
- タ. 灰化くず
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- テ. 混合廃棄物その他

事業場名称：川崎市管轄内工事現場

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

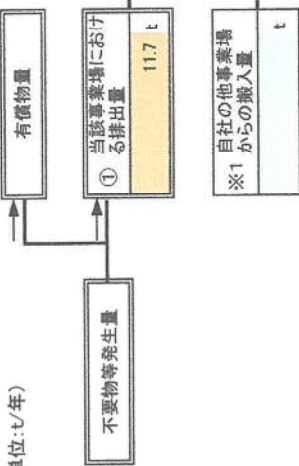
3-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称：川崎市管轄内工事現場

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類
 ⑦ 繊維くず
 ※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
 (単位:t/年)



再生利用前委託量	t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量	t
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	t
※3 自らの他事業場での処理量	t
⑩ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑪ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑫ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t

⑬ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑭ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑮ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑯ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t

⑰ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑱ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑲ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t
⑳ 自ら中間処理した後の処理委託量	0.0 t

注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度目標値	令和4年度実績値
① 排出量	4.8 t	11.7 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
⑧+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	4.8 t	11.7 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	4.8 t	11.7 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

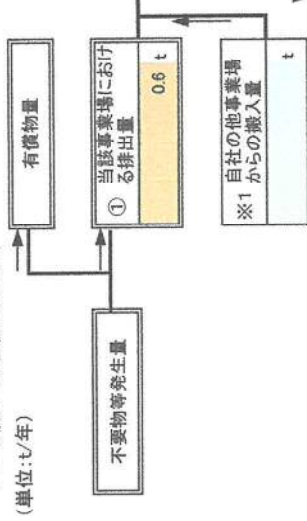
- 【産業廃棄物の種類 (7~t)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 繊維くず
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残渣
 - サ. コムくず
 - シ. 廃プラスチック類
 - ス. 缶類
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 金属くず
 - タ. 金属くず
 - チ. 金属くず
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

物の種類
ス、金属くず
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
(単位: t/年)

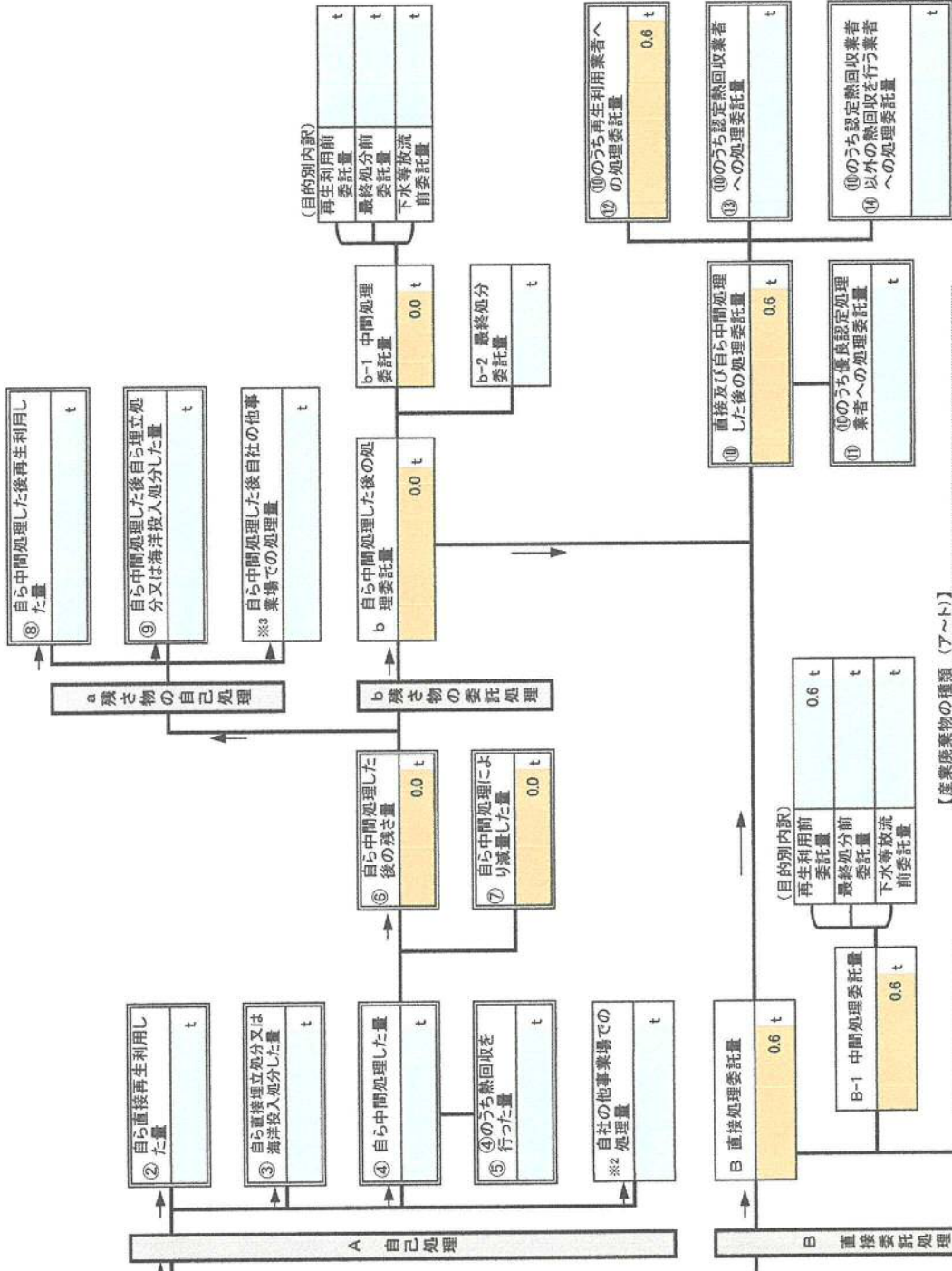


注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	0.0 t	0.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t	0.6 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t	0.6 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

3-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称：川崎市管轄内工事現場



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア 燃え殻
- イ 汚泥
- ウ 廃酸
- エ 廃アルカリ
- オ 廃プラスチック類
- カ 燃やしたくず
- キ 繊維くず
- ク 木くず
- ケ 金属くず
- コ 動植物性残さ
- ク 動物の死体
- ケ ばいじん
- コ 石膏くず
- カ 釜風くず
- キ 廃プラスチック類
- ク セ、ガラス、コンクリート、陶磁器くず
- ケ 磁さい
- コ ぐれき類
- ク 動物のふん尿
- コ ばいじん
- ト 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

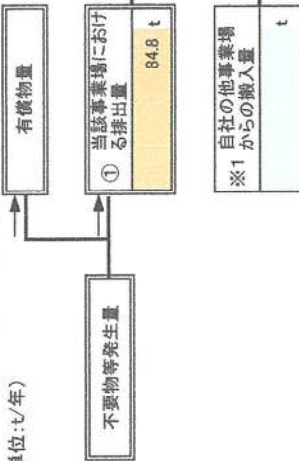
別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

七. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記録となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

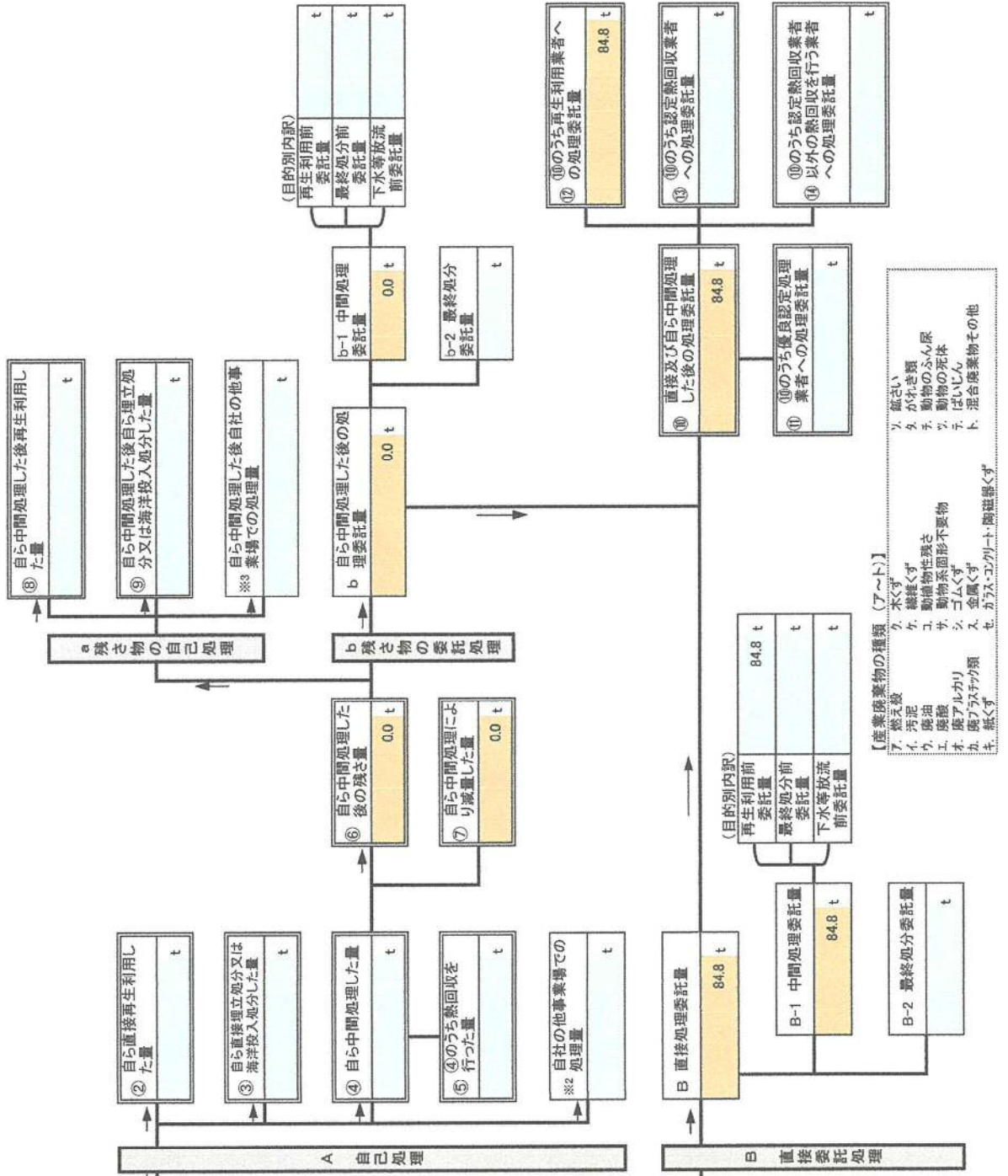


注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右側フローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	81.1 t	84.8 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	81.1 t	84.8 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	81.1 t	84.8 t
⑬ 認定回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

事業場名称: 川崎市管轄内工事現場

3-2	法定	自主
-----	----	----



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動物性残渣
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 鉄くず
 - タ. 灰じん
 - チ. ばいじん
 - ツ. 動物の死体
 - テ. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

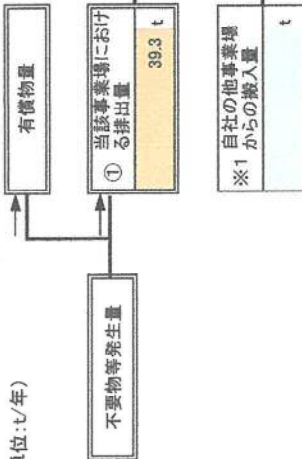
別紙処理フロー

令和4年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

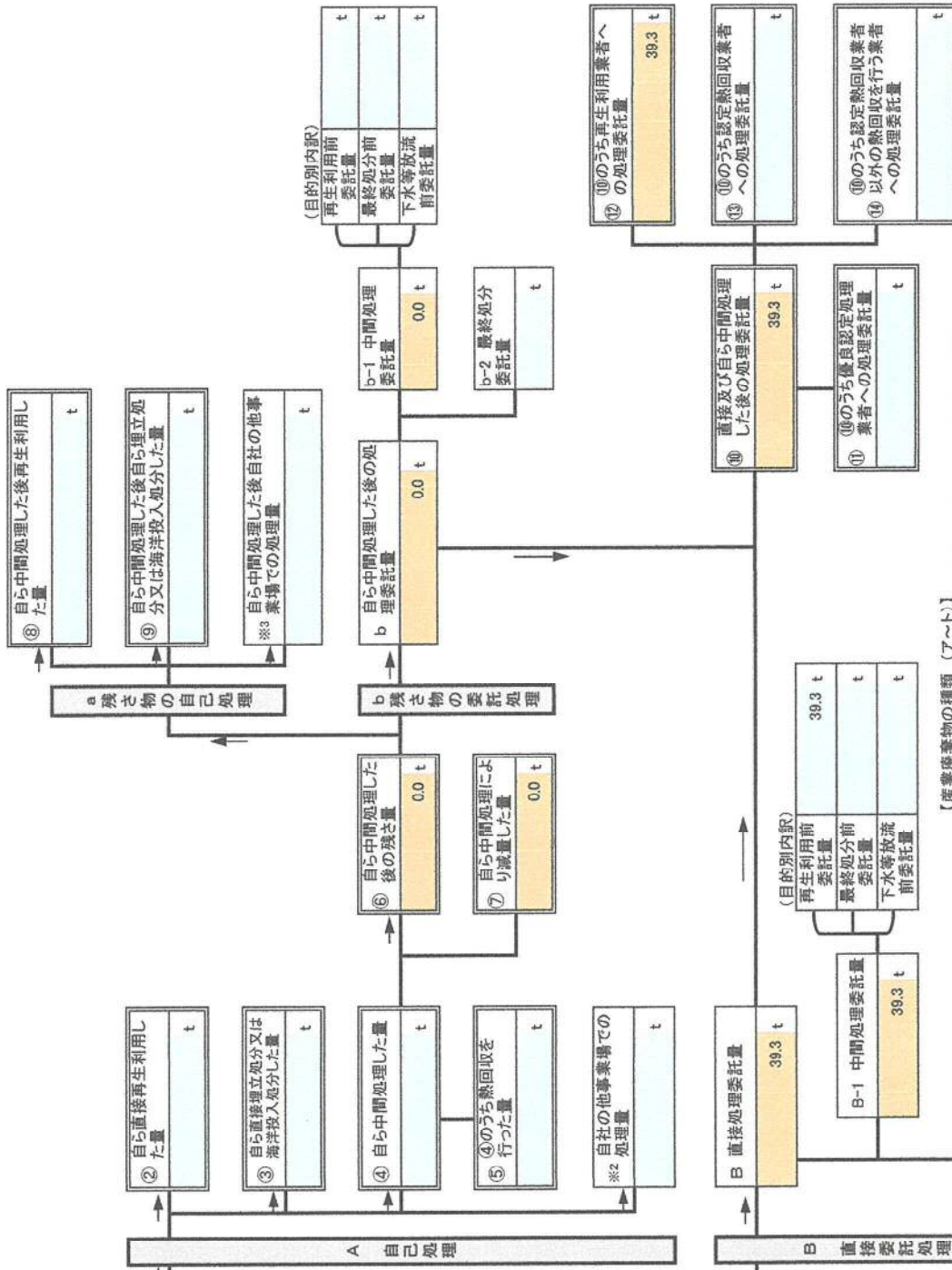


注) 右上のフローには、令和4年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和4年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上のフローに記載された令和4年度実績値が自動的に計算されます。

項目	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値
① 排出量	34.7 t	39.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	34.7 t	39.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	34.7 t	39.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

3-2	法定	自主
	0	

事業場名称：川崎市宮内工事現場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 有機性残渣
 - サ. 動物系固形不要物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - テ. 鉱くず
 - ト. 鉱さい
 - チ. がれき類
 - ツ. 動物のふん尿
 - テ. 動物の死体
 - ト. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

